

46 治山・治水

(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
治山・治水対策の推進	自然災害等による山腹の復旧・砂防ダム等の設置	危険箇所及び砂防ダムの定期点検・維持		今後も危険箇所を事前に把握し対応していく。
	災害未然防止のための状況調査等の継続	同上		同上
	町内の危険箇所や林地開発による崩落危険箇所等の診断結果による指導・対応方法の検討	同上		同上
	光ファイバー情報施設整備	河川の水位監視としてはテレメーターにより自宅のPC等により監視可能となった。		
	排水ポンプの維持管理方法の検討	昨年、排水用ポンプ6基と1発電機2基を購入し稲美樋門と鳥里樋門に3基ずつ設置。今年度、鳥里樋門と瑞治ポンプ設置場所に北電の常時電源を設置する。	大雨の際必要とされる排水用ポンプ・発電機がすべて用意されておらず、不足分はリースで対応している。そのためこれから増水が予測されても用意できない場合がある。	北電の常時電源の増設、発電機、排水用ポンプの購入を進めたい。
河川の整備	洪水対策（監視システム・排水ポンプ施設の整備）	同上		
	管理河川の浚渫（床ざらい）	木禽川、小谷沢川は浚渫済み	浚渫土は処分が基本であり、産廃処分をするには高額になるためなかなか予算が付きづらい。処分費がかからないよう浚渫土の再利用場所を探しているが見つからない。	再利用場所を探しながら、定期的な河川の浚渫を河川管理者に要望していく。
	親水性豊かな網走川河川改修事業の推進	川原樋門に排水ポンプ設置用の釜場を設置。稲美樋門の釜場の流入管の高さが高かったが、改修された。		
	駒生川河川改修事業の推進	美幌川との合流地点から33線までの護岸改修が一部を残しほぼ終了。	地権者等の交渉難。予算がつかずこれから先の工事が進みづらい。	河川管理者に改修要望を続ける。
	農業用排水路（明渠等）管理体制の見直し	土地改良事業等で整備した明渠排水路を維持管理している5維持管理組合へ報償費を支出。国営美女地区かんがい排水事業により、排水機場及び排水路を再整備実施中。	老朽化等により、施設の破損等が生じてきており、計画的な修繕を行い、延命化を図る必要がある。	明渠排水施設の維持管理事業は一部多面的機能支払事業に移行を検討。国営美女地区は、H29に事業完了予定。